



EXTRA, EXPERT and EXTREME EXPRESS--

2009 Vol.

5



Photo by H.Wakita / Y.Harada(c)

中須賀克行が2年ぶりのポールポジション獲得 イニシアチブは酒井大作が握るか!? 暑く熱いレースになりそうな岡山ラウンド



金曜日の練習走行から好調の酒井大作は、予選2番手からスタート。



柳川明がフロントロウ最後となる3番手を獲得。

INFORMATION

手が届きそうに接近!
レーシングマシンの咆哮を間近で!!



激感エリア

(要バドックパス)

全日本開催各サーキットで、最も迫力を激しく感じられる場所に設定されているのが「激感エリア」。
岡山国際では、1コーナーのコースサイドに設けられている。
この「激感エリア」へは、バドックパスの購入で入場が可能となる。コースサイドから大迫力のバトルを感じてみよう!!

※バドックパス(¥6,000)、ビットウォークパス(¥2,000)は、メインスタンド上の総合インフォメーションで販売しています。

TIME TABLE

※タイムテーブルは、変更されることがあります。

09:55 -	GP-MONO コースイン〜選手紹介
10:10 -	GP-MONO 決勝レース..... 10Laps
10:55 -	GP125 コースイン〜選手紹介
11:10 -	GP125 決勝レース..... 15Laps
11:55 -12:40	ビットウォーク〜キッズパレード
13:00 -	ST600 コースイン〜選手紹介
13:15 -	ST600 決勝レース..... 15Laps
14:05 -	JSB1000 コースイン〜選手紹介
14:20 -	JSB1000 決勝レース..... 20Laps
15:20 -	GP250 コースイン〜選手紹介
15:35 -	GP250 決勝レース..... 15Laps
16:30 -	※レース終了後〜サーキットクルージング(2輪一般体験走行)

QUALIFYING PRACTICE REPORT



各クラスポールシッター。

(左から)GP-MONO藤井 謙汰、GP125菊池 寛幸、ST600手島 雄介、JSB1000中須賀 克行、GP250宇井 陽一とGP2プロトの森脇 尚護



Pole Position 中須賀 克行 1'29.395

『事前テストで転倒してしまったので、十分なテストができていなかった。予選も最初の40分間をバイクのセットアップに費やしてしまった感じ。詰め切れていない部分がたくさんあるし、不安要素はかなりのありますね。予選は1分29秒台に入ればいいと思っています。たし、フロントロウ確保が最大の目標だったので満足しています。決勝は厳しいと思うけれど、1周目から前に出たとして、どれだけ耐えられるかがカギですね』



●予選日:天候/晴 路面/ドライ
●決勝コースイン/14:05 スタート/14:20(20周)

2009年のタイトルを占う上で重要な戦いとなる第5戦岡山を迎えた。前戦のSUGOラウンドが8月とは思えないほど涼しいコンディションとなったが、今回の岡山ラウンドは9月下旬とは思えないほどの暑さに見舞われた。予選が行われた土曜日は気温30度、路面温度は50度に迫る夏を思わせる中でのタイムアタックとなった。

ノックアウト方式で行われた公式予選。金曜日のA.R.T.走行で、ただ一人、1分29秒台をマークしトップタイムにつけていた酒井大が前評判通りイニシアチブを握っていく。Q1、Q2と、やはり一人だけ1分29秒台を記録しリーダーボードのトップにつけ、迎えた最終セッション。酒井は、ここでもタイムを縮めてくるが、そのタイムをさらに上回るライダーが現れた。ディフェンディングチャンピオンの中須賀克行だ。中須賀は予選タイヤを履くと、全力のアタックで1分29秒395をマークし、2007年最終戦以来、約2年振り

となるポールポジションを獲得した。「とにかくフロントロウに並びたかったので集中して全開でいった。ただ、アベレージは、それほどよくないので厳しいレースになると思う。今回もスタートから前に出てレースのペースを作れたらいいね」と中須賀。事前テストでは2日目の開始直後に転倒し負傷。十分テストできずにニューマシンの岡山のコースのマッチングに苦しんでいたが、レースを戦える状態に上げてきた。SUGOに続き今回も踏ん張りどころと語るが、虎視眈々と2連勝を狙っている。

一方、前戦では予選までコンスタントな速さを見せながら、決勝で気温が下がったために思うような走りができず悔しい3位となった酒井は“今回こそ”という思いが強い。「予選でもタイムは変わっていないけれど、セットを変更して戦えるバイクに仕上がってきている。レースは自分のリズムで走ることを心がけるけれど、スタートは決めたいね」と酒井。今回もアベレージでは一二を争う速さを見せているだけに今季初優勝が誰よりも欲しいところだ。

フロントロウ最後となる3番手には事前テストから好調の柳川明がつけた。「予選中に25周、同じタイヤで走って確認できているし、レースができる状態に仕上がってきていると思う。10周目以降をどう戦うかが勝敗を分けるはず。納豆走法でいきますよ!」と、岡山では2005年以来となる勝利を狙う柳川。

4番手の亀谷長純は最後に予選タイヤを使用するが、アベレージも悪くはない。「ダンロップタイヤとHondaのマシンとの相性がよくなってきました。



予選5番手、#33伊藤真一

20周、十分戦えると思いますよ」と自信をのぞかせた。伊藤は「最後にもう一周、アタックしようと思っていたらチェッカーフラッグが振られてしまった。もう少し(タイムを)詰められたはずだけれど、まあ2列目も大して変わらないでしょ。今年、一番いい状態だし勝ちたいね」とコメント。SUGOで右手小指を骨折してしまった山口辰也は事前テストなしの、ぶっつけながら好タイムをマーク。まだキズは癒えておらず、この2日間の走行で逆に手の甲が腫れ上がっている。厳しいレースになりそうだが、アベレージは悪くないだけに、トップ争いに加わりそうだ。

ペース次第では大崎誠之も加わり7台でのトップ争いとなるだろう。柳川が語るようにレース中盤以降でバックマーカーをいかにかわすかが課題となるはず。見応えのあるレースが繰り広げられそうだ。

[佐藤 寿宏]



#8亀谷長純は4番グリッドからスタートする

全日本ロードレース選手権

GP125 youth CUP に注目しよう! [4]

17歳以下(登録時)の選手を対象にGP125クラスに設定されている『ユースカップ』。今シーズンはスポット参戦を含め、19名がエントリーしている。

これまで予選から元気のいい走りでも上位に食い込んでいたユースカップ勢だが、ここ岡山では少々苦戦がみ。ユースカップでのトップは7番グリッドを獲得した日浦大治朗(15)だ。大治朗は上田昇監督率いるTeam NOBBYの秘蔵っ子。昨シーズンに引き続きレッドブルルキーズ

カップにダブルエントリー、表彰台も経験しランキング3位を獲得している。しかし全日本では思うような結果を残せていない。そろそろ秘めたる実力を発揮して表彰台に上りたいところだろう。

現在ランキング2位につけている尾野弘樹(17)は14番手。ランキング4位の浦本修亮(15)は18番手からと後方からのスタートとなるが、決勝でどれだけポジションアップできるか注目してほしい。



ユースカップの中でも注目度は抜群。日浦大治朗の本領発揮に期待したい!

JSB1000 CLASS STARTING GRID

1 1'29.395 1 中須賀克行 YSP Racing Team	2 1'29.592 39 酒井 大作 ヨシムラススキwithJOMO	3 1'29.755 87 柳川 明 TEAM GREEN
2 1'29.881 8 竜谷 長純 Honda DREAM RT 桜井ホンダ	5 1'29.897 33 伊藤 真一 KeihinKoharaR.T.	6 1'30.016 634 山口 辰也 MuSASHI RT/ハルクプロ
3 1'30.102 2 大崎 誠之 SP忠男レーシングチーム	8 1'30.416 56 高橋 巧 バーニングブラッドRT	9 1'30.642 62 横江 竜司 RT森のくまん佐藤塾
4 1'30.932 77 井筒 仁康 TRICK☆STAR RACING	11 1'30.967 48 出口 修 PLOT FARO パンテラ	12 1'33.171 32 今野 由寛 MotoMap SUPPLY
5 1'32.256 30 清水 郁巳 ホンダドリームRT高崎D WISER.T	14 1'32.388 27 西崎 修 BEET RACING	15 1'32.623 771 浜口 俊之 Team橋本組・櫻花・MIR
6 1'32.624 83 須貝 義行 チームドゥカティレーシングジャパン	17 1'32.879 18 東村伊佐三 RS-ITOH&ASIA	18 1'33.067 31 石川 朋之 Z-TECHwithビジネスリアート
7 1'33.284 777 谷 誠士郎 PURI-PURI-R&BMS	20 1'34.462 60 矢野 大輔 クラウン警備保障RACING	21 1'34.866 38 原田 洋孝 R.S.ガレージハラダ姫路
8 1'35.893 52 田村 武士 テイクアップOIRF	23 1'36.150 54 飯田 将人 Honda緑園会熊本レーシング	24 計測出来ず 44 児玉 勇太 ウイダー-D.D.BOYS
9 1'34.901 51 村上 雅彦 南海部品広島店ウッドストック	26 1'35.488 37 大西 博規 ジータックベガススポーツ&KMII	27 1'35.728 74 松本 正幸 TeamGTTMMマーカー
10 1'35.742 73 久保山正朗 Honda浜友会浜松エスカルゴ	28 1'36.413 555 安富 成士 章駄天+サムライフアクトリー	30 1'37.392 84 玉田 耕司 H-DESIGN・J-TRIP
11 1'37.473 111 藤本 悦生 TeamFuji☆LunRei		

ST 600
ALL JAPAN ROAD RACE CHAMPIONSHIP

●予選日:天候/晴 路面/ドライ
●決勝コースイン/13:00 スタート/13:15(15周)

POLE POSITION INTERVIEW

連続P.P.の手島雄介 チャンピオン争いに 王手をかけるか?



Pole Position 手島 雄介 1'34.551

「SUGOではバイクを作る上での甘さが多かったので、テストから決勝に向けてのバイク作りを必ずしようと思っていた。このクラスでできることは限られているので、その中でモノの判別とかタイヤの空気圧とか、出来る限りのことをやり切った。小さな積み重ねと今日の走り出すタイミングを誰より考えているという意識を持っていたので、それが数字につながった。予選は走り出した瞬間の空気が大事。決勝でも、そんな空気感を作るレース展開にしたい」

ST600 公式予選結果

Pos	No.	Name	Time	Team
1	48	手島 雄介	1'34.551	TSR with ALT
2	16	清水 直樹	1'34.900	RS-ITOH&KAZE
3	6	野田 弘樹	1'34.987	テルル/ハニービーレーシング
4	73	小林 龍太	1'35.070	MuSASHI RT/ハルクプロ
5	42	岡崎 晋也	1'35.142	TeamGTTMM ATOMIC
6	10	高橋 江紀	1'35.327	KeihinKoharaR.T.
7	81	佐藤 裕児	1'35.330	YSP Racing Team
8	72	宮崎 敦	1'35.413	TEAM DAYTONA
9	634	小西 良輝	1'35.416	MuSASHI RT/ハルクプロ
10	7	武田 雄一	1'35.477	HITMAN RC甲子園ヤマハ
11	9	生形 秀之	1'35.598	エスバリスドリームレーシング
12	76	関口 太郎	1'35.608	Team TARO&PLUS ONE
13	15	津田 拓也	1'35.631	チームOSG&モトスポーツ
14	14	岩田 悟	1'35.663	TSR
15	45	光元康次郎	1'35.711	Garage414/広島南海WS
16	38	中倉 伸一	1'35.718	HITMAN RC甲子園ヤマハ
17	18	寺本 幸司	1'35.876	PLOT FARO パンテラ
18	49	渡辺 一馬	1'35.922	TEAM PLUS ONE
19	19	佐竹 隆幸	1'36.034	チームOSG&モトスポーツ
20	26	東浦 正周	1'36.088	プラスミューレーシングチーム
21	55	國川 浩造	1'36.092	DyDoミューレーシングチーム
22	39	新庄 雅浩	1'36.101	RACINGSUPPLYwithAUTOBOY & 優匠
23	4	稲垣 誠	1'36.474	バーニングブラッドRT
24	705	黒川 武彦	1'36.476	松本クニツグVIPBスピード
25	33	深澤 拓真	1'36.676	PLOT FARO パンテラ
26	6	本木 康隆	1'36.844	チームきもやすとんちゃん
27	57	森 皓賢	1'36.879	PEEモトアドベンチャー
28	44	斉藤 隆	1'36.962	ウイングヨシR.C
29	43	小田 茂昇	1'37.044	エスバリスドリームレンジャー
30	64	楠木 力	1'37.048	OIRF-RT
31	24	藤島 翔太	1'37.262	モリタクラブ
32	810	田中 潤司	1'37.429	B-SQUARE&大阪SAM
33	212	中山真太郎	1'37.536	KoharaRC AKINORI
34	31	谷 正明	1'37.609	WEST POWER&AW谷屋
35	21	菅原 豊	1'37.720	ケイズプロ アンスタバーン
36	32	大楽 竜也	1'37.730	伊藤レーシングGMDスズカ
37	54	井上 哲悟	1'37.753	GRACERACINGTEAM
38	47	中本 都	1'37.767	SP忠男レーシングチーム
39	41	秋谷 守	1'37.807	K-max Racing
40	91	中山 智博	1'37.813	RS-ITOH&KAZE
以上予選通過				
41	40	白木 晶夫	1'38.043	Team能塚&R.P.WITH
42	34	シルバニアエル	1'38.516	Danie Racing
43	71	須藤 貞仁	1'38.539	H.M.F
44	18	森 新	出走せず	CLUB HARC-PRO.
45	25	川原 英実	出走せず	G-TRIBE Racing
46	35	近藤 湧也	出走せず	TEAM CRAFT GR
47	46	瀬崎 恭広	出走せず	カメイレーシング
48	63	長野 博	出走せず	SBS KIDANI

予選通過基準タイム(110%) 1'44.006
参加台数:48台 出走台数:43台

史上稀に見る激戦区 ST600を斬る

ST600 Battle of 2009

タイトル争いをリードしている手島雄介が2戦連続ポールポジションを獲得した。「前回、勝つことができて悔しい思いをした。細かい作業を積み重ねて、キッチリやったことが、予選のリザルトにつながっていると思う」と手島。前回は勝つことができなかった、と語るが、開幕戦から2連勝を飾り、前戦では3位表彰台を獲得し、ランキングでは頭一つ抜け出している。全クラスを見渡しても一番リードしているが、高いレベルに目標を置いている手島にとって満足できるものではないと言う。2006年にJSB1000クラスにステップアップ、2007年にはHRC入りを果たすものの、毎年、変わるタイヤ銘柄、モデルチェンジしたマシンに苦勞し、思うような成績を残せなかった。昨年の世界的な金融危機の影響を受け、HRCは全日本のワークス活動を休止。シートを失った手島は古巣TSRに戻りST600クラスに参戦する道を選んだ。

そんな手島が今年目標にしたのが最終戦を待たず

にタイトルを決めることだった。激戦区となっているST600クラスで、それを実現するのは容易なことではない。しかし世界で戦うことを目標に置いている手島にとって、それを実現しない限り道は開けてこない。TSRが現在、開発しているMoto2マシンで世界へ…。その夢を実現するためにも2005年に、ここ岡山で挙げた以来の勝利を狙っている。



世界で戦う夢を追いながらレース業界を盛り上げる活動もしている手島

POLE POSITION INTERVIEW

藤井 謙汰15歳。 初ポールポジション から決勝スタート!!



Pole Position 藤井 謙汰 1'40.049

『今シーズンはテストの段階からタイムを上げることができず、決勝で追い上げるレースが多かった。それを考えると今回はテストから、そこそこいいタイムが出ているので決勝への自信に繋がりました。自分に合っているのかは分からないけれど岡山は好きなコースです。予選は1分39秒後半に入りそうだなと思っていたけど、最後のタイムアタックでひっかかってしまい(39秒台には)入らずに終わってしまいました。決勝の目標は優勝。楽しく走れたらいいなと思います』

POLE POSITION INTERVIEW

菊池寛幸が、今季初 ポールポジション!! 2番手には浪平伊織



Pole Position 菊池 寛幸 1'37.513

『ここは事前テストで走っているし、1から積み上げることもないので、うまくいっていると思う。テストの時と比べて気温が上がっているから、そのへんの摺り合わせが難しいですね。全体的にタイムが上がらなかったのは気温のせいだと思うけれど、ちょっと落ちすぎな気もする。それに、若手は予選で熱くなりすぎだね。決勝レースはちょっと抱えてる問題をウォームアップまでに解決できれば、いいレースができるんじゃないかな』

POLE POSITION INTERVIEW

GP2の森脇尚護が トップタイム! 250トップは宇井陽一



Pole Position 宇井 陽一 (GP250) 1'33.025

『岡山は走るたびにコンディションがコロコロ変わるから、あまり走り込まずに事前テストは1日で切り上げ、前日の合同走行では大幅にセッティングを変えてみましたが、路面コンディションが悪く、ホイールスピンしたり、グリップが悪くて進入でアンダーが止められなかったりで、今年いちばんの苦勞をしています。(GP2との混走で)僕の上に必ず1台いるのが、すごくはがゆいですね。予選だけでも押さえられないかと頑張ったけど、差があります。悔しいけど今回は完敗です』

Pole Position 宇井 陽一 (GP250) 1'33.025

『岡山は走るたびにコンディションがコロコロ変わるから、あまり走り込まずに事前テストは1日で切り上げ、前日の合同走行では大幅にセッティングを変えてみましたが、路面コンディションが悪く、ホイールスピンしたり、グリップが悪くて進入でアンダーが止められなかったりで、今年いちばんの苦勞をしています。(GP2との混走で)僕の上に必ず1台いるのが、すごくはがゆいですね。予選だけでも押さえられないかと頑張ったけど、差があります。悔しいけど今回は完敗です』

GP250 公式予選結果

Pos	No.	Name	Time	Team
83	G	森脇 尚護	1'31.915	モリワキレーシング
41		宇井 陽一	1'33.025	立花レーシングwithSpruce/PT
2	3	及川 誠人	1'33.872	COLT&SJ-R
8		渡辺 一樹	1'33.992	COLT&SJ-R
43		藤田 拓哉	1'34.302	2りんかんRT&DOG FIGHT R
46		星野 知也	1'35.704	ミクニBeat 4413
14		福山 京太	1'36.477	TEAMモトスポーツ
24		小口 理	1'36.617	ALLMAN&OW小口歯科医院
48		柴原 誠	1'36.802	K-max racing
75		高杉奈緒子	1'36.937	バーニングブラッドRT
19		中尾 健治	1'37.174	レイラスポーツ
810		大西 明	1'37.307	大阪SAM.RT&Y's F
22		小口 亘	1'37.577	ALLMAN&OWRACING
32		岸本 孝司	1'37.922	建築工房きしもと&ハイブリッド
79	G	朝比奈 正	1'38.758	アサヒナレーシング
14		風呂本 真	1'39.104	バイクPIT東広島+レイラ+獺
27		土田 泰弘	1'41.251	RISE136+DGZ

----- 以上予選通過 -----
区分-G=GP2プロト(賞典外)
予選通過基準タイム(110%) 1'42.328
参加台数:17台 出走台数:17台

GP-MONO 公式予選結果

Pos	No.	Name	Time	Team
1	3	藤井 謙汰	1'40.049	TSR
2	87	花房 一樹	1'40.162	テック2&nyusan.com/PRCS
3	35	渡辺 陽向	1'40.433	TeamProjectu7C
4	11	小室 旭	1'40.705	TeamKOMUROwithHARC
5	6	谷川 壮洋	1'40.925	TEAM PLUS ONE
6	4	中木 亮輔	1'41.138	オールスターモータースポーツ
7	13	小畑 仁	1'41.230	MOTO WIN RACING
8	5	岡田 義治	1'42.230	MRF&RH松島・(株)NTR
9	58	松井 洪学	1'42.300	TEAM PLUS ONE
10	21	江崎屋 弥	1'42.371	テック2&nyusan.com/PRCS
11	46	星野 知也	1'42.526	ミクニBeat 4413
12	19	山田 俊樹	1'42.597	MRF&RH松島・(株)NTR
13	20	山本 恭裕	1'42.700	広島カジャタレーシング&LRC
14	52	川村 明	1'42.763	MOTO WIN RACING
15	66	丸山美由貴	1'43.086	オールスターモータースポーツ
16	28	吉道 竜也	1'43.172	テルル ハニビーレーシング
17	37	坪川 浩明	1'43.280	TEAM-MARGUERITE
18	25	高瀬 敬次	1'43.490	Gyueeeee マックウェスタン
19	16	赤岡 清	1'43.531	CLUB HARC-PRO.
20	7	比企 徹	1'43.754	レーシングサブライム勢斗雲
21	38	井岡 正裕	1'43.811	SRミニマム関和TUNE
22	36	小川 範祥	1'43.831	広島カジャレーシング
23	18	根村 拓歩	1'43.900	18 GARAGE RACING TEAM
24	34	畑中 要	1'44.071	Garage130R&Jr's
25	48	法月多嘉夫	1'44.354	MARS&OMEGA&RPベアー
26	44	林 祥由	1'45.887	ドリームキッズ&TECHNICA
27	32	楠元 晃一	1'46.101	銀色バイク&kfb
28	78	松井 俊純	1'46.177	Jr's Club
29	51	増田 顕也	1'46.208	クラブM+松田塾+棚RT
30	72	岩本 有司	1'48.039	銀色バイク&kfb
31	50	田邊 成章	1'48.269	ガレージ☆ミント&RCサクセス

----- 以上予選通過 -----
予選通過基準タイム(110%) 1'50.236
参加台数:31台 出走台数:31台

GP125 公式予選結果

Pos	No.	Name	Time	Team
1	1	菊池 寛幸	1'37.513	チームウイリー
2	4	浪平 伊織	1'37.667	Honda鈴鹿レーシングチーム
3	55	岩田 裕臣	1'37.677	DyDo&ウレシングチーム
4	5	山田 亮太	1'37.732	TEAM PLUS ONE
5	11	矢作 雄馬	1'37.985	桶川塾&ENDURANCE
6	16	鎌田 悟	1'38.009	ENDURANCE+桶川スポーツランド
7	8	日浦大治郎 Y	1'38.075	Team NOBBY
8	14	大金 佑輝 Y	1'38.132	ENDURANCE+桶川塾
9	26	権藤 俊光	1'38.197	BATTLE FACTORY
10	91	森 俊也 Y	1'38.325	racing sayama
11	68	篠崎 佐助 Y	1'38.365	チーム テック・2
12	20	大久保 光 Y	1'38.404	18 GARAGE RACING TEAM
13	51	藤井 謙汰 Y	1'38.454	TSR
14	3	尾野 弘樹 Y	1'38.465	BATTLE FACTORY
15	6	柳沢 祐一	1'38.561	18 GARAGE RACING TEAM
16	34	日浦 祐一 Y	1'38.586	Team NOBBY
17	45	長島 哲太 Y	1'38.707	TeamProjectu 7C
18	48	浦本 修充 Y	1'38.759	TEAM IRONBARONS
19	25	山本 剛大 Y	1'38.923	Team NOBBY
20	12	仲枝 英幸 P	1'39.215	Projectu7C HARC
21	63	石崎 司也 Y	1'39.317	18 GARAGE RT たかだ農園
22	2	徳留 真紀	1'39.391	チーム テック・2
23	77	安村 武志 P	1'39.422	チーム テック・2
24	15	古市 翔	1'39.492	EUROPORT&ASPIRATION
25	24	山本 翔 Y	1'39.871	18 GARAGE RACING TEAM
26	23	東 幸寛	1'39.882	TeamAZUMA+sonic
27	19	今中 満	1'40.123	team RISKY
28	52	大塚 浩二	1'40.473	team RISKY
29	37	川瀬啓一郎	1'40.579	チーム KOHSAKA
30	17	天野 邦博	1'40.687	Honda狭山レーシングチーム
31	64	畠原 洋	1'40.704	チームKOHSAKA高橋商会
32	95	中村 光利	1'40.949	team RISKY
33	72	濱原 颯道 Y	1'41.108	桶川塾&ENDURANCE
34	50	尾野 都司 Y	1'41.263	BATTLE FACTORY
35	47	福島 宏幸	1'41.328	team RISKY
36	21	村田 憲彦	1'41.481	CLUBY's★J-OFFICE
37	31	川瀬 和希	1'42.114	CLUBY's★J-OFFICE
38	99	井手 敏男	1'44.208	Grip

----- 以上予選通過 -----
予選通過基準タイム(110%) 1'47.381
参加台数:39台 出走台数:38台
※Yは2009年ユースカップ登録者、Pはプロト車両